会社の人間関係が良くなる
ペップな社長の
ペップトーク通信

2022年1月号　vol.1

＊ペップトークとは
「もともとアメリカでスポーツの試合前に監督やコーチが選手を励ますために行っている短い激励のスピーチです。
「Pep」は英語で、元気・活気・活力という意味があります」

【アメリカ発祥のペップトークがどうやって日本に入ってきたのか？】

日本でアスレティックレーナーという言葉を知っている人がほとんどいなかった時代。
日本ペップトーク普及協会の代表理事である岩崎由純はその知識、技術を身につける為１９８２年（今から３６年も前です！）アメリカに渡りました。

選手のケアの為あらゆるスポーツチームのロッカールームに出入りしていた岩崎は選手、監督以外ごくごく一部の人しか入る事ができない試合前の監督のスピーチの現場にも居合わすことができたそうです。

選手の支度が整った頃に監督がロッカールームに現れる。すると選手たちは話す事をやめ床に片膝をついた状態で監督を取り囲む。シーンとしたロッカールームは神聖ともいえる空気に包まれる。そんな中、監督のスピーチが始まります。スピーチが進んで行くにつれ選手の目つき、表情がみるみる変わっていく。監督の短いスピーチによって選手は闘志あふれる戦士に変わっていくのです。

この光景に心を打たれた岩崎はトレーナーとしての勉強をしながらペップトークの研究も始めたのです。

さて、これがペップトークが日本に入ってくるきっかけとなった出来事でペップトークの原点ともいえるアメリカでのスポーツ現場の光景なのです。このようにアメリカのスポーツ現場では選手やる気を引き出し、モチベーションを上げるため「言葉の力」を使います。

「選手がスポーツの技や力を磨くように指導者は言葉の力を磨くのだ」

これは岩崎の言葉ですが岩崎がアメリカで見た指導者達の姿なのです。あなたが発する言葉によって相手のやる気を引きだすことができるモチベーションが上がる前向きに進むことができるこんな事が起こったら素敵だと思いませんか？そんなペップトークは今やスポーツの現場にとどまらず様々なところで取り入れられています
企業の研修、社長が社内コミュニケーションのツールとして、先生が生徒を指導するために。
ペップトークは場所や年齢を問わず誰にでも必要な言葉の使い方なのです。

PEP TALK!